

FUJI OIL GROUP 2012

第84期 中間報告書

平成23年4月1日から平成23年9月30日まで

Global & Quality

二つとない、をつくる。

不二製油

証券コード：2607

「Global & Quality 2013」

(2011年4月1日～
2014年3月31日)

「二つとない技術力、海外力で競争優位を築き、 グローバルに成長を果す企業グループ」

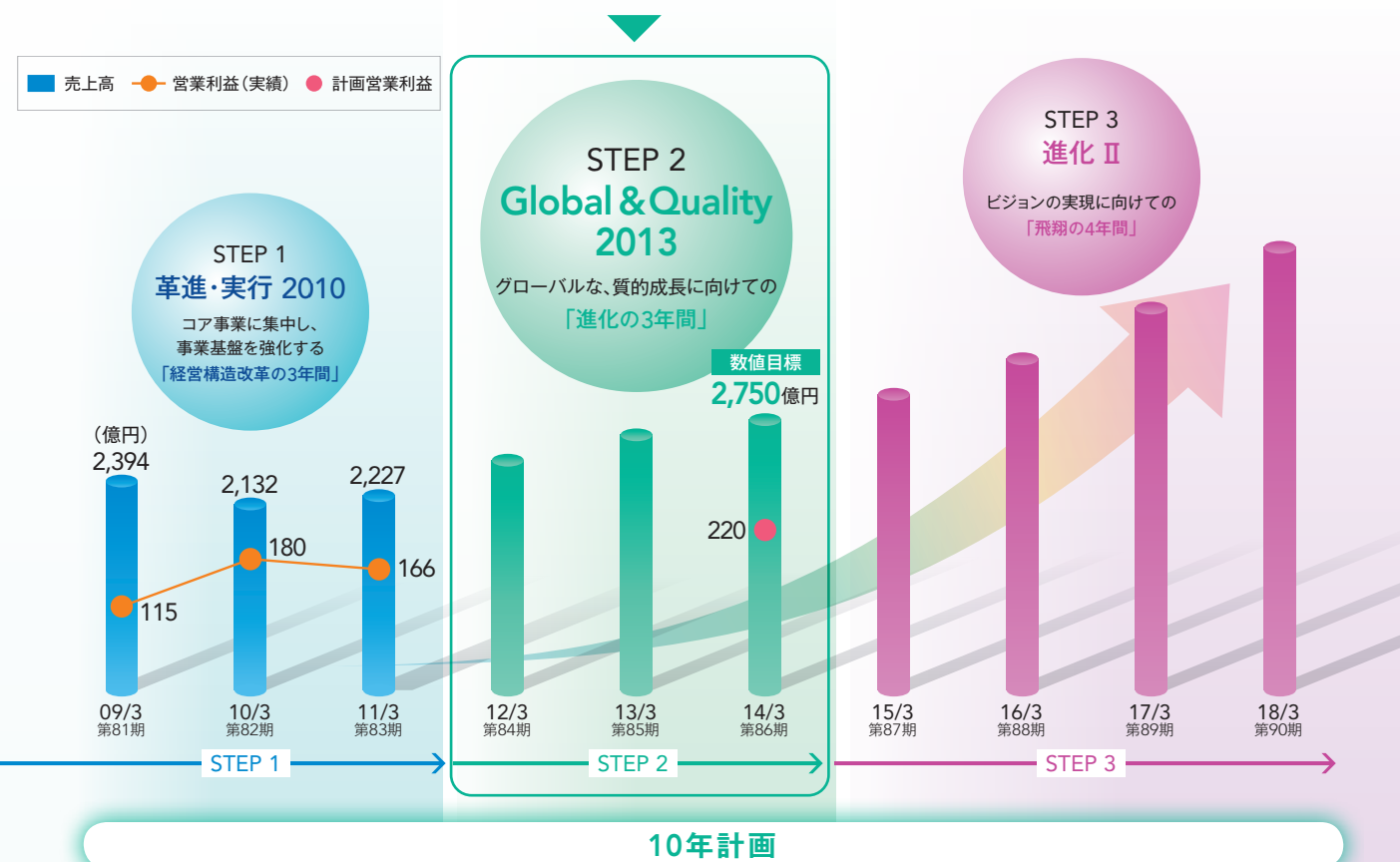
不二製油では、本年5月に新たな中期経営計画を策定しました。中期経営計画では、2014年度（第87期）に向け当社が目指す姿として「二つとない技術力、海外力で競争優位を築き、グローバルに成長を果す企業グループ」を掲げております。具体的には、コア事業の深掘りや新素材・新事業の創出、海外での新成長、提案営業・顧客とのコミュニケーションの強化、また、CSR（企業の社会的責任）活動の充実を重点課題としております。本年度は、中期経営計画の最初の年にあたり、掲げた目標に向かって事業展開を開始しております。

基本方針

1 グローバル経営の推進

2 技術経営の推進

3 サステナブル経営の推進



トップメッセージ

株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、第84期中間期における事業環境は、主要原料価格や燃料価格等が高値で推移するなど、厳しい状況が続きました。このような状況の中、当期よりスタートした中期経営計画「Global & Quality 2013」では、「グローバル経営の推進」「技術経営の推進」「サステナブル経営の推進」を基本方針として掲げ、顧客ニーズに即した製品開発、高機能素材の供給、生産コストの削減に取り組んでまいりました。

これらの結果、当中間期における連結業績は、売上高は前年同期を上回りましたが、利益面では、原料価格の高騰等が影響して前年同期比で減益となりました。

円高・デフレ基調の長期化や欧米における金融不安の拡大など、引き続き、厳しい事業環境が予想されます。中期経営計画実現のための具体的施策を確実にかつスピーディに実行していく所存であります。

なお、当中間期の配当につきましては、1株につき12円とさせていただきました。中間配当を含めた年間配当は1株24円とさせていただく予定であります。

今後ともステークホルダーの皆様からの信頼を獲得し、期待にお応えできるよう企業価値の向上に取り組んでまいります。

株主の皆様におかれましては、より一層のご支援、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

代表取締役社長
海老原 善隆



平成24年3月期連結「上期業績」と「通期見通し」

連結決算 上期業績（平成23年4月1日～平成23年9月30日）

当社グループを取り巻く食品業界におきましても、経済情勢不安による消費者の節約志向・低価格志向は依然強く、また、主要原料価格や燃料価格等が引き続いて高値で推移するなど、厳しい事業環境が続きました。

このような状況の中、当社グループは新中期経営計画「Global&Quality 2013」を掲げ、「グローバル経営の推進」「技術経営の推進」「サステナブル経営の推進」を基本方針として、顧客ニーズに即した製品開発、高機能素材の供給、生産コストの削減に取り組んでまいりました。

油脂事業

国内では、主要原料価格の上昇によりチョコレート用油脂の採算は悪化しましたが、ヤシ油・パーム油・調合油の販売が好調に推移し、増収・増益となりました。

海外では、チョコレート用油脂は、ココアバター相場下落の影響を受けて販売価格が下落し減収・減益となりました。パーム油は、原料価格が高値で推移し売上高は前年同期を上回りましたが、採算悪化のため減益となりました。

製菓・製パン
素材事業

国内では、業務用チョコレートは、パン・流通菓子・冷菓用のスイートチョコ・カラーチョコの販売が減少し減収・減益となりました。マーガリン・ショートニングは、パン用が増加し増収となりましたが、原料価格の上昇により減益となりました。製菓・製パン素材輸入販売は、粉乳調製品・バター調製品が増加し増収・増益となりました。

海外では、業務用チョコレート、マーガリン・ショートニングの東南アジアでの販売が好調に推移し売上高は前年同期を上回りましたが、原料価格上昇により採算が悪化し減益となりました。

大豆たん白
事業

大豆たん白素材は、米国ソレイ社との合併解消により水産用途、健康食品用途の売上高が減少しましたが、冷食・惣菜用途、加工食品用途が好調に推移し、減収・増益となりました。

大豆たん白機能剤は、加工食品用途・発酵培地用途の販売数量が増加しましたが、販売価格の下落により減収・増益となりました。

大豆たん白食品は、即席麺市場・弁当給食市場向けが増加し増収となりましたが、利益面では前年同期を下回りました。

豆乳の売上高は前年同期を上回り黒字を確保しました。

(単位:億円)

	平成24年3月期 上期（平成23年4月1日～平成23年9月30日）			平成24年3月期 通期（平成23年4月1日～平成24年3月31日）		
	平成24年3月期 上期業績	ご参考		平成24年3月期 通期見通し	ご参考	
		対前年同期 平成22年4月 1日～ 平成22年9月30日	対前年同期 増減率		対前期 平成22年4月 1日～ 平成23年3月31日	対前期増減率
売上高	1,165	+ 88	+ 8.2%	2,486	+ 258	+ 11.6%
営業利益	60	△ 22	△ 27.4%	134	△ 31	△ 19.2%
経常利益	58	△ 21	△ 27.1%	130	△ 32	△ 20.0%
純利益	39	△ 8	△ 18.5%	83	△ 14	△ 15.2%

(注) 記載金額は億円未満を切り捨てて表示しております。

平成24年3月期 下期の重点取り組み

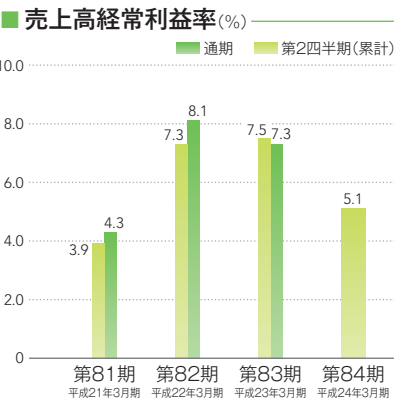
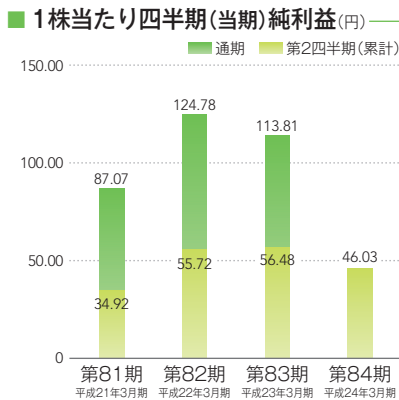
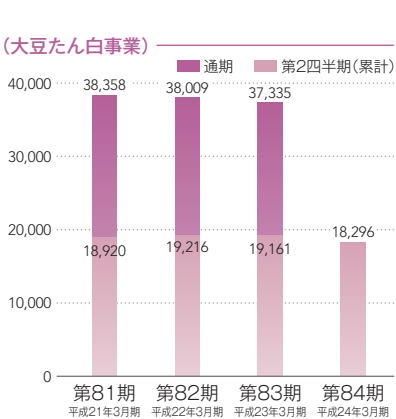
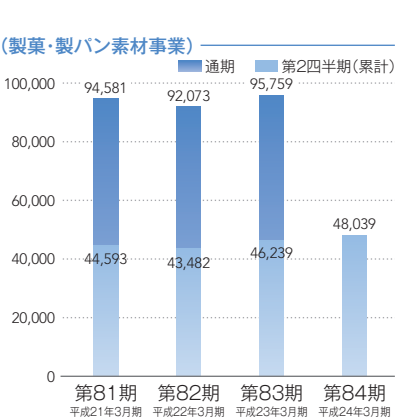
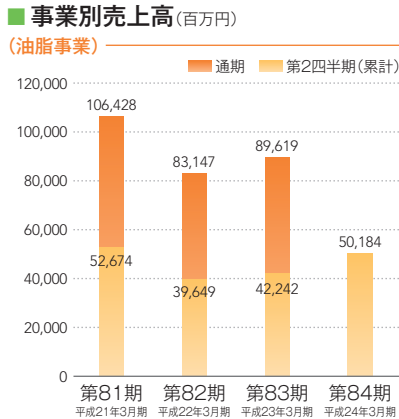
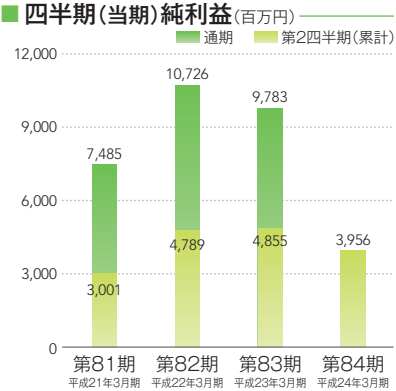
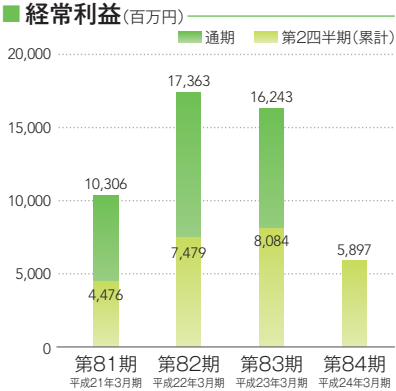
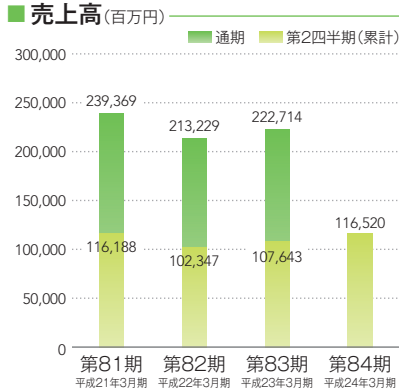
世界の競争で勝ち残る規模と収益、価値を確保する

☐ 「量の海外」

☐ 「質の国内」

将来見通しに関する注意事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により上記予想数値と異なる場合があります。



■ 四半期連結貸借対照表			(単位: 百万円)
科 目	当第2四半期末 平成23年9月30日現在	前期末 平成23年3月31日現在	
資産の部			
流動資産	94,506	86,166	
固定資産	86,830	88,265	
有形固定資産	74,953	76,128	
無形固定資産	1,248	1,325	
投資その他の資産	10,628	10,811	
繰延資産	—	3	
資産合計	181,337	174,435	
負債の部			
流動負債	50,442	48,119	
固定負債	24,587	23,095	
負債合計	75,030	71,215	
純資産の部			
株主資本	109,112	106,187	
資本金	13,208	13,208	
資本剰余金	18,324	18,324	
利益剰余金	79,325	76,399	
自己株式	△1,745	△1,745	
その他の包括利益累計額	△8,123	△7,863	
少数株主持分	5,319	4,896	
純資産合計	106,307	103,220	
負債純資産合計	181,337	174,435	

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

四半期連結損益計算書		(単位:百万円)
科 目	当第2四半期(累計) 平成23年4月 1 日から 平成23年9月30日まで	前第2四半期(累計) 平成22年4月 1 日から 平成22年9月30日まで
売上高	116,520	107,643
売上原価	96,231	84,900
売上総利益	20,289	22,743
販売費及び一般管理費	14,275	14,459
営業利益	6,013	8,283
営業外収益	334	320
営業外費用	449	519
経常利益	5,897	8,084
特別損失	175	675
税金等調整前四半期純利益	5,722	7,408
法人税、住民税及び事業税	1,614	2,155
法人税等調整額	△64	89
法人税等合計	1,549	2,244
少数株主損益調整前四半期純利益	4,172	5,164
少数株主利益	215	309
四半期純利益	3,956	4,855

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

平成24年3月期の中間配当金

平成23年11月4日開催の取締役会において、次のとおり決議いたしました。

1株当たりの配当金

12円

配当総額

1,031百万円

トピックス

フジオイル(タイランド)社 工場竣工式を挙行「フジサニープラザBANGKOK」を設立

当社が2010年2月に設立しましたタイ現地法人フジオイル(タイランド)社(本社:タイ王国ラヨーン県、社長:正 和友)は設立以来建設を進めておりました工場の竣工式を2011年7月1日に挙行いたしました。また、バンコク市内に顧客サービス拠点「フジサニープラザBANGKOK」を設立いたしました。

当社ではお客様と当社営業・開発スタッフがコミュニケーションを図りながら、新製品・新メニューを共同開発するスペースとして「フジサニープラザ」を設けております。ここでは不二製油の素材と技術の提供だけではなく、市場動向などを分析し、当社ならではのプレゼンテーション、提案営業を行っています。これまで日本3箇所、中国、シンガポールで「フジサニープラザ」を展開してまいりましたが、この度フジオイル(タイランド)社工場の稼動に合わせバンコク市内に「フジサニープラザBANGKOK」を設立いたしました。各地の「フジサニープラザ」のネットワークも活用、製菓・製パンの講習会なども実施し、お客様の新製品づくりにお役立ていただくよう進めてまいります。



フジオイル(タイランド)社



フジサニープラザBANGKOK

フジオイル(シンガポール)社 コ・ジェネレーションシステム導入

当社のグループ会社であるフジオイル(シンガポール)社(社長:久野陽一)はコ・ジェネレーションシステム(ガスタービン発電設備)を導入し、2011年7月から稼動を開始いたしました。

今回導入しましたコ・ジェネレーションシステムは天然ガスを燃料とし、ガスタービン発電装置と排熱回収ボイラで構成され、高いエネルギー効率が得られるもので、エネルギー使用量と温室効果ガス排出量の削減が可能となります。発生する電力と蒸気的全量を工場内の生産設備で使用します。



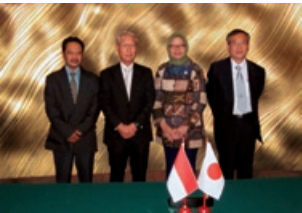
フジオイル(シンガポール)社
コ・ジェネレーションシステム

インドネシアとのパームに関する共同研究を推進

当社は、インドネシア技術評価応用庁(Badan Pengkajian dan Penerapan Teknologi、以下BPPT)と「パームの生産性の向上及び高品質化に向けた共同研究」を推進することについて合意し、2011年7月7日インドネシア・ジャカルタのBPPT庁舎にて包括的覚書を締結しました。

当社は、BPPTとの共同研究を通じ、世界最大のパーム油の生産国であるインドネシアのパーム油産業の発展に貢献していくとともに、パーム農園の拡大に伴う熱帯雨林の減少等の地球環境問題の改善を図り、持続可能なパーム油生産に貢献していきたいと考えております。

今後当社のフードサイエンス研究所とBPPT所属のバイオテックセンターとの間で共同研究に取り組んでまいります。



調印式の様子

不二製油グループ「CSRビジョン」と「CSR活動方針」

2011年、新たに「CSRビジョン」と「CSR活動方針」を下記の通り策定し、CSRの目指す方向、考え方を明確にしています。

CSRビジョン

不二製油グループのCSRビジョンは、
企業理念『食』の創造を通して、健康で豊かな生活に貢献します。』を実現することです。
「人マネをしない」という創業の精神を胸に、食品素材メーカーとして価値ある製品・サービスを提供し、
社会の皆様から信頼され、期待される「二つとない、をつくる。不二製油」を目指します。

□ 阪南の森プロジェクト(環境保全活動)

2010年11月より不二製油阪南事業所では「大阪府のアドプトフォレスト制度」を利用して、身近な自然を自分たちの力で守る活動「阪南の森プロジェクト」を開始し、2011年9月末日現在で通算5回の活動を実施しました。不二製油の社員が、休日を利用して阪南事業所のある泉佐野市の里山に入り、間伐、植樹、下草刈りなどを行うことで、荒れた里山を豊かな広葉樹林に生まれ変わらせようと取り組んでいます。地球全体の大きさと比較するとほんの小さな環境保全への取り組みかもしれませんが、地域貢献として今後も継続していきたいと考えています。



活動に参加したメンバー

□ 役員と第三者とのダイアログ(対話)

不二製油のCSR活動に対する客観的な評価を、神戸大学経営研究学科の三品和広教授より「第三者意見」を頂戴していることにつきましては、右ページに紹介の「CSRレポート2011」でも掲載いたしております。
本年からは、こうした社外の「第三者意見」を不二製油のCSR経営に活かすべく、役員が「第三者意見」を傾聴し、また第三者との直接対話の機会を設けました。

2011年9月1日、第1回目として、役員と三品和広教授とのダイアログ(対話)を実施しました。不二製油のCSR活動に対する評価に始まり、人権に関する取り組み、情報発信のあり方、CSR調達等、多岐にわたるテーマについて対話が行われました。

今後もこうしたダイアログを継続するとともに、ダイアログを通じて得られた「第三者意見」を、今後のCSR経営に活かしていきたいと考えております。



役員と三品和広教授の対話風景(左奥から3人目が三品教授)

CSRレポート2011の発行

不二製油は、昨年(2010年)初めてCSRレポートを発行いたしました。初刊に対して皆様から頂戴いただきました意見を踏まえさらに内容の充実を図り「FUJI OIL CSR REPORT 2011」を発行いたしました。

不二製油グループ製品の主な用途をイラストを交えて紹介するページや「不二製油のパーム事業」及び「不二製油の大豆事業」といった基幹事業を特集したページを設けるなど、不二製油をより良く知っていただくための情報を掲載しております。

また、不二製油のCSR課題と2011年の活動計画を一覧に示し、CSRについての具体的な取り組みを掲載するとともに、最終ページには、不二製油のCSR活動に対する客観的な評価として、神戸大学経営研究学科の三品和広教授による「第三者意見」を掲載しております。

初刊にいつそうの改良が加えられた2011年度版不二製油のCSRレポート「FUJI OIL CSR REPORT 2011」は、当社ホームページ上でもご覧いただけます。

<http://www.fujioil.co.jp/fujioil/approach/approach004.html>

皆様からのご意見、ご感想をお待ちしております。



株式情報

株式の状況 (平成23年9月30日現在)

発行可能株式総数	357,324,000株
発行済株式の総数	87,569,383株
株主数	15,650名
1人当たり平均所有株式数	5,595株

大株主 (平成23年9月30日現在)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
伊藤忠商事株式会社	17,831	20.74
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	5,404	6.29
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	4,342	5.05
野村信託銀行株式会社(信託口)	3,127	3.64
東京海上日動火災保険株式会社	2,828	3.29
全国共済農業協同組合連合会	2,185	2.54
日本生命保険相互会社	2,000	2.33
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	1,904	2.22
株式会社三井住友銀行	1,875	2.18
農林中央金庫	1,825	2.12

持株比率は自己株式(1,608千株)を控除して計算しております。



会社情報

会社概要 (平成23年9月30日現在)

創立	1950年(昭和25年)10月
資本金	13,208百万円
代表者名	代表取締役社長 海老原 善隆
全グループ従業員数	3,681名
不二製油従業員数	1,153名

役員 (平成23年9月30日現在)

代表取締役社長	海老原 善隆
代表取締役副社長	河部 博国
専務取締役	山中 敏正
専務取締役	中村 修
常務取締役	岡本 和三
常務取締役	岩朝 中央
常務取締役	高木 茂
常務取締役	寺西 進
常務取締役	清水 洋史
常務取締役	前田 裕一
取締役	小林 誠
取締役	内山 哲也
取締役	西村 一郎
取締役	吉田 友行
取締役	久野 貢
取締役	中山 勇
常勤監査役	枅井 俊一
常勤監査役	黒岡 彰
監査役	松本 稔彦
監査役	江名 昌彦

連結上期業績概要 (平成23年9月30日現在)

連結売上高	116,520 百万円
連結経常利益	5,897 百万円
連結総資産	181,337 百万円

主要海外グループ会社 (平成23年9月30日現在)

フジオイル (シンガポール)
ウッドランド サニーフーズ
フジサニーフーズ
パルマジュ エディブル オイル
フジ ベジタブル オイル
ソヤファーム USA
フジオイル ヨーロッパ
ニューレイテ エディブル オイル
フレイアパディ インドタマ
フジオイル (タイランド)
ムシム マス-フジ
フジオイル サウス アメリカ
不二製油 (張家港) 有限公司
吉林不二蛋白有限公司
山東龍藤不二食品有限公司
上海旭洋綠色食品有限公司
深圳旭洋綠色食品有限公司
天津不二蛋白有限公司
不二富吉 (北京) 科技有限公司

主要国内グループ会社 (平成23年9月30日現在)

トーラク 株式会社
フジフレッシュフーズ 株式会社
ケイ・ピー食品 株式会社
ワルツファンシー 株式会社
不二バター 株式会社
株式会社 フジサニーフーズ九州
株式会社 エフアンドエフ
株式会社 阪南タンクターミナル
千葉ベグオイルタンクターミナル 株式会社

株主のご案内

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月開催
基準日	定時株主総会 3月31日 期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日 そのほか必要があるときは、 あらかじめ公告して定めた日
株主名簿管理人 および特別口座の 口座管理機関	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社 証券代行部
公告掲載新聞	日本経済新聞
上場証券取引所	東京・大阪
証券コード	2607

株主の皆様の声をお聞かせください

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。
お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示される
アンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。



<http://www.e-kabunushi.com>
アクセスコード **2607**

いいかぶ

検索

Yahoo!、MSN、exciteのサイト
内にある検索窓に、いいかぶと
4文字入れて検索してください。



空メールによりURL自動返信

kabu@wjim.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)
アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

- アンケート実施期間は、本書がお手元に
到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から
抽選で当選(図書カード500円)
を差し送らせていただきます



※本アンケートは、株式会社 a2media(エー・ツー・メディア)の提供する「e-株主
リサーチ」サービスにより実施いたします。(株式会社 a2media)についての詳
細(<http://www.a2media.co.jp>) ※ご回答内容は統計資料としてのみ使用さ
せていただき、事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

- アンケートのお問い合わせ TEL:03-5777-3900(平日 10:00~17:30)
「e-株主リサーチ事務局」 MAIL:info@e-kabunushi.com

株式に関するお手続きについて

証券会社でお取引をされている株主様

お手続き お問い合わせ先	お取引のある証券会社
お手続き内容	住所・氏名等のご変更、単元未満株式の買取請求、配当金の受領方法・振込先のご変更等
留意事項	未払配当金のお支払、郵送物の発送と返戻に関するご照会につきましては、株主名簿管理人である住友信託銀行株式会社 証券代行部が承ります。

特別口座に記録されている株主様

お手続き お問い合わせ先	住友信託銀行株式会社 証券代行部
〈郵便物送付先〉	〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10
〈電話照会先〉	0120-176-417 (平日9:00~17:00)
〈ホームページ〉	http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html
お手続き内容	特別口座から一般口座への振替請求、住所・氏名等のご変更、単元未満株式の買取請求、配当金の受領方法・振込先のご変更、未払配当金のお支払、郵送物の発送と返戻に関するご照会等
特別口座での 留意事項	特別口座では、株式の売却はできません。売却するには、証券会社に口座を開設したうえで株式の振替手続きが必要となります。

[特別口座について]

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様のご所有株式は住友信託銀行株式会社に開設された口座(特別口座)に記録されております。

特別口座の詳細につきましては、上記住友信託銀行株式会社 証券代行部
にお問い合わせください。

二つとない、をつくる。

不二製油
<http://www.fujioil.co.jp>